

## 第40回スポーツフェスタ2022大阪 感染症拡大予防ガイドライン

2022.6.1

本ガイドラインはスポーツフェスタ2022大阪の運営に当たり、感染症拡大予防のため、参加者が遵守すべき事項を取りまとめたものとなります。大会参加につきましては、以下の内容を必ずご確認ください、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。また、ここに記載のない事項が追加されることもあります。

### (1) 事前の対応(参加者に求める感染症拡大防止のための措置)

以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることを。

ア 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

マスクを持参すること。(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること) 来場者は常時着用すること。

こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

他の参加者、主催者スタッフ等との距離(最低1m)を確保すること。(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)

大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。

感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

基本的には無観客で行うが、選手1名につき2名まで同行者(介助者・保護者等)の付添を認める。

参加者および同行者(介助者・保護者等)は、あらかじめ体調管理チェックシート(ダウンロード可)に、体調などを記入して団体申込責任者もしくは大会受付に提出すること。

厚生労働省から提供されている新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)を活用すること。また、大会当日は大阪コロナ追跡システムへの登録に協力すること。

### (2) 当日の対応(大会の参加にあたり留意すべき事項)

体調管理チェックシートを提出すること。

手指消毒をこまめに行うこと。

発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないようにすること。

参加する選手やスタッフは、前後のミーティング等においても三つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること。

更衣室、休憩・待機スペースにおいて、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じるため、遵守すること。

諸室・運営諸室の各部屋では、手指消毒すること。また、換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。

飲食物を手にする前やトイレ後には、洗剤等による手洗い、手指消毒を行うこと。

同行者は、大声での声援を送らないこと、会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用すること。大旗を使用した応援は禁止とする。

握手などの身体を接触する挨拶は行わないこと。

競技終了後は必ず手洗いをを行い、発生したごみは必ず各自で処分すること。  
使用済みマスク、鼻水・唾液等がついたごみはビニール袋に入れ、密封して持ち帰ること。  
やむを得ない場合を除き、競技終了後（閉会式後）は速やかに会場を出ること。  
その他、各会場の定めた利用方法やスタッフの指示を遵守すること。

### （３）事後の対応

大会終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会事務局に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

#### 【参考資料】

- ・公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会  
「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」

## 感染症拡大予防 各競技 遵守事項

### （１）水泳競技

招集場所に集合の際にはマスクを着用すること。  
レース前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。（マスクは、選手イス・脱衣ボックス、かごに直接置かない）  
更衣室では休憩せず更衣のみとし、ロッカーは使用不可とする。  
休憩・待機スペース・観覧スタンドは、指定された場所に間隔をとって使用すること。

### （２）卓球競技

卓球台の上で手を拭かないこと。  
シューズの裏を手で拭かないこと。  
不要な声出しはしないこと。

#### 【参考資料】

- ・公益財団法人日本水泳連盟  
「JASF 水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」
- ・公益財団法人日本卓球協会  
「日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策」